

学校だより

第8号

R7年12月23日発行

しもはら

文責

校長：森山 泉恵



晩秋から初冬へと季節が移り変わる中、校庭や周囲の木々も色鮮やかな葉を落とし、冬の訪れを告げています。そんな自然の営みを感じながら、今年も恒例の「落ち葉拾い」を行いました。時代が大きく変化する今だからこそ、昔から続くこの活動には特別な意味があります。自然に親しみ、仲間と協力しながら手を動かすことで、心を豊かにする勤労体験となりました。子どもたちの笑顔とともに、季節の恵みに感謝するひとときでした。

体験して伸びる子どもたち

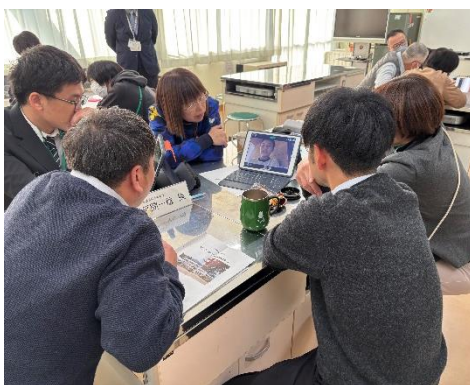
冬の冷たい空気の中、スケート教室が行われました。初めての1年生は氷の上に立つことさえ難しく、最初は四つん這いになりながら必死にバランスを取る姿が見られました。中には何度も転びながらも、あきらめずに立ち上がろうと挑戦し続ける子もいました。その粘り強さに、私たちは大きな感動を覚えました。やがて立てるようになった子どもたちの表情は、自信と喜びに満ちていました。終了時には「まだやりたい!」と声をあげ、「あと5回もできる!」と卒業までの学習を心待ちにするつぶやきも聞かれました。



4年生は、ボランティアの森屋先生にご協力いただき木版画に挑戦しました。自分が思い描くイメージを線で表現しようと、どの子も真剣な表情で取り組む姿が印象的でした。彫刻刀を使う活動は危険を伴いますが、子どもたちは約束を守り互いに気を配りながら作業を進め、誰一人怪我をすることなく終わることができました。作品づくりを通して、表現する楽しさや安全に取り組むための心構えを学んだこの体験は、子どもたちの成長にとって大きな意味を持つものとなりました。

5年生の提案から～学校運営協議会～

12月4日、学校運営協議会を開催しました。この日は委員の皆さんと学校職員が一緒になり、「みんなでわくわくする学校づくり」をテーマに雑談会を行いました。会の中では、5年生児童一人ひとりが動画にまとめた提案を視聴しました。この提案は、国語の学習活動の一貫で一人ひとりが考えたものです。子どもたちの自由な発想や前向きなアイデアに、参加者は大いに刺激を受けました。提案を見終えた後、委員と職員が語り合う時間は、笑顔と熱意にあふれ、まさに「わくわくする学校づくり」を実感するひとときとなりました。



◀児童が作った動画に、参加者みんなが釘付けでした。

◆5年生【みんなでわくわくする学校にするための提案】の御紹介

わくわく学校全体謎解き、全校児童で増やし鬼、鬼怒川小の同級生と宿泊、外遊び週間、全校生で学校かくれんぼ、友だちスタンプラリー、全校生で学校逃走中、シモバーサルスタジオジャパン、下原ランド、シモバーサルインとちぎ、一週間スポーツ大会、わくわく親子給食、手洗いポスターの作成、わくわく秋祭り、友だちいっぱい増やそうスタンプラリー、学校お化け屋敷、みんなで工作

がんばりが伝わりました～学習発表会～

12月16日の学習発表会は、どの学年も思いのこもった素晴らしい発表になりました。全学年が一堂に会し互いの発表を参観し合う形で開催したことで、会場は温かな雰囲気になりました。幕間の時間調整には、進行役を務めた高学年児童が、準備していたクイズやゲームにアドリブを加え、見事に盛り上げてくれました。その機転と工夫に会場は笑顔でいっぱいになりました。発表の場だけでなく、進行や運営の面でも子どもたちの活躍が光った今回の学習発表会。仲間とともに創り上げる喜びを感じながら、子どもたちは大きく成長した一日となりました。

